



# コラーレ倶楽部通信



コラーレ倶楽部通信新聞部  
〒938-0031 富山県黒部市三日市 20 番地 コラーレ  
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207



## 2019年コラーレ倶楽部大決算!?

# 今年はこんなことありました

平成最後の年、そして令和最初の年、二つの元号がしっかりとバトン・リレー。新聞部の「ブチョウ」と「パペポ」が、1年間に渡って繰り広げられたアクティブグループの見事なバトンさばきを中継します。

**ブチョウ:** 今年も早いね。アクティブグループは日本のリレー侍のように平成と令和を見事につないだよ。

**パペポ:** そうだね、世の中祝賀ムードに沸いたけど、アクティブグループの活躍もとっても賑やかだったね。

**ブチョウ:** 5月の初めごろまでは何かと冠に「平成最後の」が付いて盛り上がったよね。

**パペポ:** まずは「卑弥呼くるべ」が作った平成最後の門松でアケオメー！ 大きな竹はまだ見ぬ新時代に向けて、グングンと伸びる勢い。

**ブチョウ:** 年が明けてすぐ、1月には「アクティブグループパーティ」が開催されました。大いに盛り上がり、真冬だというのに汗びっしょり。ひよっとして私たち体育会系？

**パペポ:** 体育会系と言えば、私たちの仲間にもそんなサークルがあったんですよ。それがコンテンポラリーダンス「ミラージュゲート」。体全体を使っていろんなことを表現するんだけど、とても楽しそうでした。



「ティータイム・コンサート」がなんと18回目を迎えました。各人が1年間温めた曲を披露、夢の空間が広がりました。

**ブチョウ:** そんな素敵なコンサートにいつも彩を添えてくれるのも我がアクティブグループの仲間たち。会場コーディネイト「花ゆう悠の会」は、素敵な野の花でやさしく会場を包んでくれました。来年1月のパフォーマンスアーツでも素敵な空間を演出してくれる予定です。

**パペポ:** 素敵な空間と言えば「流しの美術製作隊」のウキウキ、ワクワクの「コラーレ・ラリー」は春夏秋冬、コラーレの風物詩となっていますよ。

**ブチョウ:** ウキウキ、ワクワクと言えば、年賀状シーズン真っ盛りだね。消しゴムはんこづくり「べったん」では、ウキウキワクワクの年賀のはんこも一杯作ってるよ。今から入部しても間に合うぞ、急げ！

**パペポ:** べったんと言えば、来館者の皆さんにいつもべったんと寄り添っているのが一時保育ボランティア「あいじ福祉会」。公演中しっかりと小さなお子さんを見てくれるので、パパもママも安心して公演が楽しめるよね。そして1年間を通して笑顔一杯振りまいてお客さんをお迎えして下さったのが、会場案内ボランティア「卑弥呼くるべ」。なんと来年は、コラーレと同じく25周年！ 本当に縁の下の支えがあつてのコラーレです。

**ブチョウ:** パペポちゃん、私たち「新聞部」もそんなアクティブグループを一杯応援してるよね。

**パペポ:** コラーレ倶楽部通信はアクティヴの夢を乗せて飛ぶ魔法のじゅうたんのな。ネッ！

**ブチョウ:** パペポちゃん、かっこいい、魔女的な。ネッ！

**ブチョウ:** 楽しいと言えば、3月のコラーレ・ワールドフェスティバル「Earth Moving」。アコースティックギター「アコギを楽しむ会」がごきげんなギターサウンド、そして歌を聴かせてくれました。彼らは4月の「コラーレ de フリーマーケット」、8月の「24時間ぶっとおしライブ」にも出演したよね。

**パペポ:** そう、アクティブの顔的存在、でなくて音的存在。音的存在と言えばアクティブが誇るグループまだあるよね。そのひとつは弦楽「楽屋ストリングス」。週に1回集まって、アンサンブルの腕に磨きをかけています。24時間ぶっとおしライブではクラシックからポップラーまで爽やかな音色を届けてくれました。それともう一つは、大人のピアノサークル「ドレミの会」も24時間ぶっとおしライブに出演。そして9月には年に1度催している



**ブチョウ**  
還暦もとうに過ぎ、好きな登山もやれ膝が痛い、腰が痛いと満身創痍。しかしながら、胃腸だけは衰え知らず。これも日頃の鍛錬の賜物か？ 来年こそはこの似顔絵ももっと細く、かっこよく、ね！



**パペポ**  
新聞部在籍10年以上。なのに、一向に文章力は上がらず、校正力は下降気味。主な担当はイラストのはずだったからね……と逃げる、アラ〜フィフ。キャッシュレス化の波に乗りれない、アナログ昭和道一直線。

## 今月のひとりごと

### すごすぎ！血液の働き

身体の細部まで絶えず流れ続ける血液。なぜこんなに一生懸命流れてくれているのか。

- ① 酸素の運び屋、二酸化炭素の回収：赤血球
- ② 身体中のパトロール：白血球
- ③ 傷口を修復する：血小板

大きくまとめると、この3つが挙げられる。

- ① 人間の細胞一つ一つが自らエネルギーを作る。エネルギーを作るためには酸素が不可欠なため、赤血球が肺から酸素をもらい細胞に配って回る。その際に出た不要な二酸化炭素を回収し、肺で交換する。
- ② 白血球は身体の中に侵入してきた病原菌やがん細胞、不要な細胞を食べてくれる。身体の警察官の役割をしている。
- ③ 日常生活をしていても、どこかをぶつけてしまったり、擦り剥いたり小さな怪我は頻繁だ。そんな時は血小板が傷ついた血管に貼り付いて止血の処置をしてくれ、きちんと固めて元に戻してくれる。

酸素を運搬するためにはサラサラな血液でないといけない。しかし、出血した際にはできるだけ早く固まって塞いでくれないといけない。異物が入ってきたらすぐにやっつけてくれないといけない。非常に矛盾した役回りである。身体中を絶えず巡り、しっかりと見張ってくれているおかげで私たちは毎日健康でいられているのだ。

<健康に感謝>

## アクティブグループ

「アクティブグループ」とは、コラーレ倶楽部会員の中で、特に意欲的・積極的に活動するメンバーが集う、いわば「サークル」みたいなもの。自己表現したい人、裏方に興味のある人、ボランティア活動したい人……何かしたくてムズムズしているいろんな人たちが、それぞれ自分の得意分野を持ち寄り無形の情熱を有形に変えていくグループです。何を作り上げるかによって構成メンバーは変化するでしょう。しかし、主役は常にあなた自身です。

アクティブグループ活動場所として、専用の部屋を無料で開放しています。ミーティングなどに、お気軽にご利用ください。興味を持ったサークルがあれば、コラーレまでご連絡ください。



## コラーレ倶楽部アクティブグループ 12月の活動予定

- 大人のピアノサークル ドレミの会**  
ピアノを楽しんでいます。特に指導はありません。  
▼12月7日(出)・21日(出) 各日 13:00～17:00
- 弦楽サークル 楽屋ストリングス**  
ヴァイオリンを楽しみましょう。初心者大歓迎。  
▼12月毎週(月) 各日 19:30～22:00
- アコギを楽しむ会**  
アコースティック・ギターを楽しみます。見学歓迎。  
▼ミーティング：12月7日(出) 19:00～22:00  
12月15日(日) 19:00～22:00
- 消しゴムはんこづくり べったん**  
1回だけの参加も大歓迎。初心者もOK、材料費必要。  
▼12月19日(木) 19:30～21:00「まだ間に合う年賀状」
- コンテンポラリーダンス ミラージュゲート**  
年齢・性別・経験を問わず、ダンスを楽しみましょう。  
▼12月12日(木) 19:00～21:00
- コラーレ倶楽部通信新聞部**  
この倶楽部通信を毎月作っています。お仲間募集中。  
▼ミーティング：12月5日(木) 19:30～21:00

## ピアノサークル「ドレミの会」

2019年9月29日/コラーレ

### 18回目のコンサートを終えて

昨年は17回目の発表会を終えてホッとしながら「今回は90歳で臨むことになるなあ! いつの間に90!？」と驚きました。加齢とともに内服薬の種類が増えていますが、とにかく良縁が整って生かされ存命です。おかげさまで晩年にドレミの会に入会出来ました。嫁入りの際に遊び道具と評価されたピアノは持ち込み禁止。涙をのんだ事を覚えていた夫が薦めてくれて、おっぴらに入会出来ました。

ドレミの会は、「他人のいる処で弾く事を体験する」「お喋りをする」の2本柱です。やっと友人ができました。感謝の気持ちが募って「これを形にするには……そうだ、私の好きなピアニスト・戸島園恵さんの演奏を皆さんにプレゼントすれば良い」と気付き、メンバーに相談し了解を得ました。即、戸島さんに、今回の発表会のゲストとして出演交渉し、快諾を得て前進です。代表の松木さんから「例年の発表時間に加えて、特別演奏30分では長くなり過ぎる」の提言。では、「例年なら1部で1曲、2部で1曲弾くのを、今回は1度に2曲弾いて出入りの時間を削減すれば?」の結論が出ました。プログラムはスムーズに決まり、良いデザインで印刷してもらえました。

当日、会場設営時刻に入場しますと、花ゆう悠の会さんによる飾り花は、蔓珠沙華、秋海棠などで仕上げられていました。例年より多い客席を準備し、リハーサルを始めました。私は、みんなで歌いましょうのコーナー「ドレミの歌」の伴奏に緊張していました。合言葉は「支えても、くじげずに……」ですが、妙なことに揚がると支えたところが楽譜で見つからなくなるのです。しかし今回その珍事は起きませんでした。

戸島さんの演奏は繊細で表現が豊か! リクエストしたワイマン作曲の「銀波」をプロの演奏で初めて聴き入りました。会場が割れんばかりの拍手の元、花束贈呈。アンコールにブラームスの「ワルツ」を弾いてくださいました。終演後は、戸島さんを囲み記念写真を撮り、全員大満足でした。来年もご期待ください。

<音楽の話大好き90歳!>

## 鑑賞レポート

### こんな観てきました!

#### 風間サチコ展「コンクリート組曲」

2019年10月/黒部市美術館

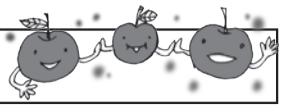
ぱっと目に入った時から、何か惹きつけられた。独特の雰囲気、白と黒の力強い線で描かれていた、チラシの絵。木版画作品。それまで抱いていた木版のイメージとは一線を画す感じ。風間サチコさんの世界に出会うべく、久々に黒部市美術館に足を運んだ。

黒部川開発の発展の歴史に着目し、その光と影を描く一連の作品は『人間のエゴや支配欲を描いたワーグナーの楽劇「ラインの黄金」という物語を重ねた』と解説があった。電力開発にかかる先人達の涙ぐましい建設への道程を経て、発電所やダムは奥山にそびえ立つ。自然を、人間の都合に合わせてデザインしてきた。電力の供給や観光資源として私達は恩恵を受けている。だが、自然は容赦なしに大暴れする。折しも台風により甚大な被害があった頃に作品を鑑賞した。私達は表裏一体の自然の中で生きているのだ。日々、忘れまくって生きているが、立ち止まって光と影を感じてみたら? と作品たちから聞こえてくる気がした。

建設と破壊、自然と人工、発展と衰退。風間さんの作品には相対するものが流れていて、木版で表現される白と黒の世界は、それらを対比して浮かび上がらせ、私達に何か伝えるのにぴったりの技法なのではないか。チラシで見た作品「ディスリンピック2680」は、想像以上に大作だった。生命の統制と新世界建設を大きなテーマにした、とあった。じっくり細かな部分を見ていくと……「甲」の隊列は世界を創り上げる戦力となる男性陣だろうか。「丙」「丁」の者は建設材料となるべく、砂利のようにコンクリートに混ぜられていく様が。文明が発達するにつれ、人間には優生至上主義的思想が生まれてきたのか。そして、未来もそれは無くなることはないのか? 生産性の無い私は、「丁」「戊」の部類にあたるか? この作品で感じた一抹の恐れ。「風間サチコ」が忘れられない作家となった。

<地底人/女性>

## コラーレ倶楽部の広場



### わたしのたび紀行

#### 梅雨の中休み、宮崎の旅

##### ■ 神話の故郷・宮崎を訪ね……

夕方19時過ぎに神戸港を出発。2等寝台で横になり、翌朝8時半に宮崎港に入港。そこからバスで日帰りの宮崎の散策の旅がはじまる。阿波岐原森林公園、平和台公園、亜熱帯作物支場・ジャカラダの森、堀切峠、そして最後に青島を巡る。

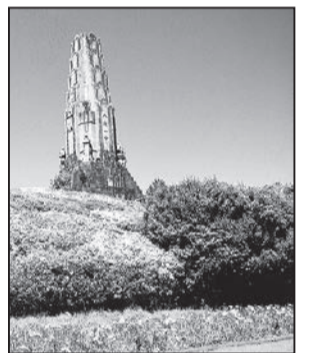
##### ■ 阿波岐原森林公園の散策

宮崎駅から約15分。「古事記」の舞台で、祝詞の冒頭では「筑紫の日向の橘の小戸の阿波岐原」と唱えられている一ツ葉地区一帯に広がる阿波岐原。イザナキは妻が忘れられず、「黄泉の国」まで亡くなった妻イザナミに会いに行くが、醜い死の姿に驚き夢中で地上に逃げ帰り、死の国の汚れをお祓いしたのが、阿波岐原に現在もある「みそぎ池」と言われる。綺麗な黄色の水蓮の花が池一面に咲いていた。



##### ■ 平和台公園、そして現地グルメに舌鼓

県立平和台公園は季節の花と緑が美しい。昭和15年に紀元2600年を記念して建設された平和の塔は高さ36.4m。宮崎市街地が見渡せる塔の4隅に信楽焼の四神像。塔正面の「八紘一宇」は戦争の暗い時代を連想する。1964年東京オリンピックで第2コースの聖火出発点になった記念ボードもある。公園内の古代ムード溢れる「はにわ園」で種々の埴輪を巡るが、ひょうきんな人型埴輪の表情がとても印象的だった。



宮崎市から一路南下、日南市南郷町を目指す。日南は「一本釣りカツオ」水揚げ日本一で、昼食に新鮮カツオを用いた日南ならではの「カツオ炙り重」。炭火でカツオの切り身を焼いて、お茶漬けて味わう。添えられた「魚うどん」はトビウオのすり身で作られたうどん麺で珍しかった。

##### ■ 日本で唯一のジャカラダ群生林

ホウオウボク、カエンボクと並び世界3大花木と言われるジャカラダが、宮崎県総合農業試験場内の有用植物園に植栽されている。開花は5月下旬から6月末頃までで、青紫色の花を咲かせる。ブラジル県人会からジャカラダの種を譲渡され、宮崎県総合農業試験場亜熱帯作物支場内で植栽、昭和53年に初めてジャカラダが開花。今では周囲に総数は千本のジャカラダが群生する。この時期、青紫色の花が、海の色、梅雨晴れの空に映え、はるばる遠く来た甲斐があった。道の駅なんごうまで坂道を降り、名物マンゴースoftクリームで乾いた喉を潤した。

宮崎港への帰途に立ち寄った青島は、奇岩鬼の洗濯板と呼ばれる波状岩で囲まれた周囲1.5kmほどの小さな島で、亜熱帯植物に被われる。17時の閉店直前のお土産店で名物のチーズ饅頭をお土産に購入。隣接する県立青島亜熱帯植物園には大温室があり、彩り鮮やかな植物が茂り、温室中央にはシンガポール植物園と姉妹植物園の縁でマーライオンが東88度の方向を向く。宮崎港の戻り途中で、道路わきの珊瑚刺桐の赤い花や民家の庭先の赤いアジサイが美しかった。

<K・N/60代男性>



### 新聞部からのおてがみ

令和元年もはや師走を迎えます。コラーレではチケット売上の公演がいくつもあり、多くの来場者で賑わい、コラーレファンも増えたのではないのでしょうか。そしてこのコラーレ倶楽部通信では今年もアクティブグループの活動をお伝えしてきましたが、楽しんでお読みいただけましたでしょうか。

コラーレ開館25周年を迎える来年もアクティブな皆さんの活動や投稿等盛り沢山の内容でお届けしていきます。来年もご愛読よろしく願います。2020年が穏やかな年でありますように!

<か>

#### コラーレ倶楽部通信新聞部

〒938-0031 富山県黒部市三日市20番地 コラーレ  
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207 info@colare.jp

## プリンセスQPズバリ占う! あなたの12月の運勢



- 【1月生】直感を大切にしたい星回り。恋愛運絶好調、しかし浮かれ過ぎないで。金運好調。仕事はどんどん楽しくなる。
- 【2月生】思い通りにならない星回り。急な変更あり。恋愛は迷走するが長引かない。金運良好。仕事は情報交換が吉。
- 【3月生】欲しいものが手に入る星回り。それを見せびらかさないで。恋愛運低迷。金運絶好調。仕事は気分転換が吉。
- 【4月生】心を楽ませる事が大事な星回り。恋愛は待っていた返事がもらえ吉。金運低調。仕事はやる気が出ない。
- 【5月生】感受性が豊かな星回り。恋愛は思いを寄せてくれる人が現れる。金運絶好調。仕事運絶好調、実りが多い。
- 【6月生】創作活動がツキを呼ぶ星回り。恋愛は結論を急がないで吉。金運好調。仕事はトラブルに巻き込まれる注意。

- 【7月生】やりたかった事がハッキリ見える星回り。恋愛は思い通りに進展。金運良好。仕事はテキパキ片付けられ吉。
- 【8月生】意欲がわかない星回り。案に出来そうな事をこなして。恋愛運好調。金運低迷。仕事は辛抱強さを発揮して吉。
- 【9月生】感性が光る星回り。会話が大切。恋愛運絶好調、正直でいて。金運好調。仕事は人のご機嫌取りは卒業して吉。
- 【10月生】外部の刺激に敏感な星回り。人との関わりが億劫になる。恋愛運好調。金運低迷。仕事は対処法を考えて吉。
- 【11月生】役立つ情報が集まる星回り。ヒントを得て吉。恋愛は諦めないで吉。金運低調。仕事運絶好調。健康が基本。
- 【12月生】計画を見直す星回り。全体を確認して吉。恋愛は波乱あり。金運低調。仕事の裏切りは仕事で解消出来て吉。

## 編集後記

- 睡眠不足は大敵です。深夜1時~3時に熟睡すると若返るそうです。そしてインターネット上の細切れ文章より本を読んで言語能力を鍛え、出来るだけ語彙の豊富な文章を書くことでボケにくくなるか。来年は是非、新聞部入部をお勧めします! <み>
- 北陸新幹線開業5周年の今年10月の台風19号の被害で、あの青に茶色のストライプの列車が泥水につかる衝撃的な映像が流れた。何とも痛々しい姿。5年ですっかり身近な愛すべき存在になっていたのに、何が起きるかわからないと実感した1年だった。 <布袋>
- 姪っ子の家には立派なクリスマスツリーがある。家に帰ってくると手洗いより先にツリーの電飾を点けるのが日課だそう。でも姪っ子にとってもっと大切なのは、保育園で作った自作の小さな松ぼっくりのツリー。特別に私にだけ貸してくれた。ありがとう! <月がふたつ>
- 家の掃除も、年賀状書くのも毎年早くから取りかかる! とは思うものの、いつも年末ギリギリ。掃除なんて正月明けてから本格的にやったりして。今年こそ、ああ今年こそ、今年こそ……。 <バベボ>
- 今年1年、どんな年でしたか? 平成に終わりを告げ令和へと元号が変わりました。明るい話題はラグビー日本代表の大活躍。でも観測史上最大級の台風襲来で苦難にも立たされました。迎える令和2年は字のごとく和みの年でありますように。 <和を以て貴しとなす>
- 東京オリンピックがここに来て、マラソンと競歩だけが札幌になりました。選手の事を考えると分からない訳じゃないですが、暑さ対策を考慮した上でのIOC承認だったのに、鶴の一声で変更とは。パラリンピックは東京のまま、どうなの? <どら>